

## ◎調査表記入要領

- 都市公園内の調査対象施設の発生草本種の調査と、公園の雑草管理についての聞きとり調査を行う。
- 公園内の調査対象施設は修景施設、広場施設(芝生広場)、遊戯施設、便益施設、管理施設、非利用地・すきま地。
- 公園内に同一施設が複数箇所ある場合は5箇所までの調査で結構です。
- 発生草本種は一調査区分につき、15種以内の種名を挙げる(ただし次の発生状況区分のいずれかに当てはまる種についてのみ)。
- 雑草種ごとの発生状況を次の通り区分し種名横の小セルに記入する。
  - 1: 全体的に散在するが、量的には多くない
  - 2: 発生部分は限られている(局所的)が、量的に多い
  - 3: 全体的に発生し、発生量も多い
- 上記発生状況にあてはまらなくても、珍しいと思われる種(あまり見かけない帰化植物など)があれば、発生状況「0」として記入するか、メモ欄に記入する。
- 調査した公園内に同一の調査施設が複数存在する場合、一か所の調査施設で1枚の調査用紙を使用する。

(例えば修景施設が3か所ある場合、1か所の修景施設ごとに1枚の調査用紙を使用。完成する修景施設についての調査用紙は3枚になります。)

(調査施設名横の()内に番号等を記入し地図にその位置を記入する等、調査した当該施設の場所がわかるようにしてください。)
- 各々の調査施設内に存在しない部分については斜線を入れる。

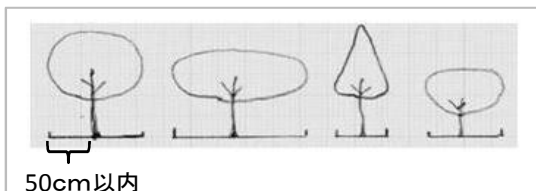
(ある1か所の修景施設に「景観芝生」がない場合、「景観芝生」欄に斜線を引いてください。)
- 調査した公園内に存在しない調査施設については斜線を入れる。
- 景観芝生や芝生広場については芝の種類がわかれば記入する(例:ノシバ、コウライシバ、日本シバ、洋シバ)。
- 種名がわからない場合は、No.をつけ種名欄に記入、写真を添付する。

写真は①生育地の写真、②個体全体の写真、③同定の要となる部位の拡大写真(あれば花器や果実、なければ葉-茎など)を撮影する。

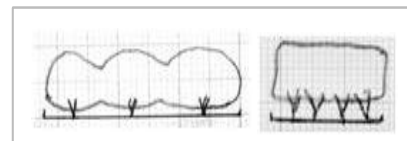
個体全体の写真は可能であれば抜き取り、地下部も含めて撮影してください。
- 種名がわからない植物は、写真と合わせて植物体の特徴(葉の大きさ・触感、植物体の高さや茎・葉の毛の有無、托葉の有無・形、など)を出来るだけメモする。

- どのような雑草管理を行っているのかを管理事務所等に伺い、管理聞き取り調査表に記入する。
- 雑草管理については、「年間維持管理費」、「年間の刈り取り回数・時期」、「管理計画者・作業実施者」については必ず伺う。
- 修景施設区分の説明は以下の通り

● 中高木: 単立樹株元・・・株元から半径50cm以内、30本以上を調査



● 植え込み・生垣・その他の連続した低木類: 30mまたは30m<sup>2</sup>以上を調査



● 植え込み・生垣・低木

内部: 植え込み等の下部分および内部に伸びる植物(右図塗りつぶし部分)



外縁部: 植え込み等の周囲約50cm以内部分(右図塗りつぶし部分)



植え込みなど